



© Naoya Yamaguchi



## 下野 竜也 (京都市交響楽団常任首席客演指揮者)

Conductor : Tatsuya SHIMONO (Principal Guest Conductor of the Kyoto Symphony Orchestra)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュツットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月からは、同団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督に就任。2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

## 今久保宏美 Hiromi IMAKUBO

作陽音楽大学音楽学部声楽科卒業(現くらしき作陽大学)。

今西三典、フォルカー・レニッケ、揃 敏幸、八尋和美、陸子・バルディの各氏に師事。

津山国際総合音楽祭「魔笛」待女II、「皇帝ティートの慈悲」ヴィテリア、四国二期会公演「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「蝶々夫人」蝶々夫人、名古屋二期会公演「魔笛」待女I、愛媛県民オペラ「フィガロの結婚」スザンナ、伯爵夫人、オペラえひめ公演「こうもり」ロザリンド、ひろしまオペラルネッサンス公演「カルメン」メルセデス、四国二期会愛媛支部公演「修道女アンジェリカ」アンジェリカ、2014年8月、第40回記念四国二期会オペラ公演「魔笛」パミーナ役、第42回四国二期会オペラ公演「フィガロの結婚」スザンナ役で出演。

他に、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルデイリージ、「電話」ルーシー、オペラハイライトでは「ラ・ボエーム」ミミ、「椿姫」ヴィオレッタ等に出演。また「第九」のソリスト、2006年より愛媛県「心に響け日本の歌」「歌いつごう日本の歌」開催事業で県内小中学校で演奏、他、各種コンサートに出演。全国二期会サミットコンサートに出演。2013年5月「愛媛県文化協会創立20周年記念功労者賞」受賞。

(公財)津山文化振興財団専属合唱団「ヴォーカルアンサンブル津山」に所属。倉敷シティオペラ会員。新居浜女声合唱団「彩」指揮、指導。四国二期会会員。



## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年「第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」



©伊藤菜々子

クラシック部門「オペラ・オーケストラ部門賞」及び「第46回サントリー音楽賞」受賞。2015年6月には18年ぶりのヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回(2016年度)音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月「第29回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。